

福岡県はこの戸を開け！

六月二十日までに約一、六〇〇通の意見書を提出！

水の汚染が懸念される熊ヶ畠産廃場 拡張を絶対許可するな。

（有）エコジャパンの産廃場拡張許可申請に対し、「生命の水を守る会」嘉麻市山田地区公民館熊ヶ畠分館、近郊住民約五十名は六月二十日、福岡県が許可しないよう求める意見書一、四〇六通を携え飯塚保健所に提出致しました。締め切りの一十一日には一、六〇〇通を超えるました。

1
ほんと
ぜつたい
住民の誇り、
豊かな緑と水を
奪うな。

どんな日照りが続こうとも、山田地区の水道は断水したり時間給水した事はありません。周りの豊かな緑から湧き出す水と地下水から汲み上げる深井戸があるからです。その直ぐ上に、今回の巨大拡張許可申請の産廃場が出来るのは。あなたはどうお考えになりますか？

こうした汚染物質が溶け出た浸透水や地下水がいずれ山田地区の水道水源施設へ流れ込む事になる事を私は恐れています。又、遠賀川上流に位置する事を考えれば当然、河川沿いで生産されるお米や野菜などに影響を与える事は必至です。風評被害も考えられます。こんな危険な産廃場拡張を県は絶対許可すべきではありません。

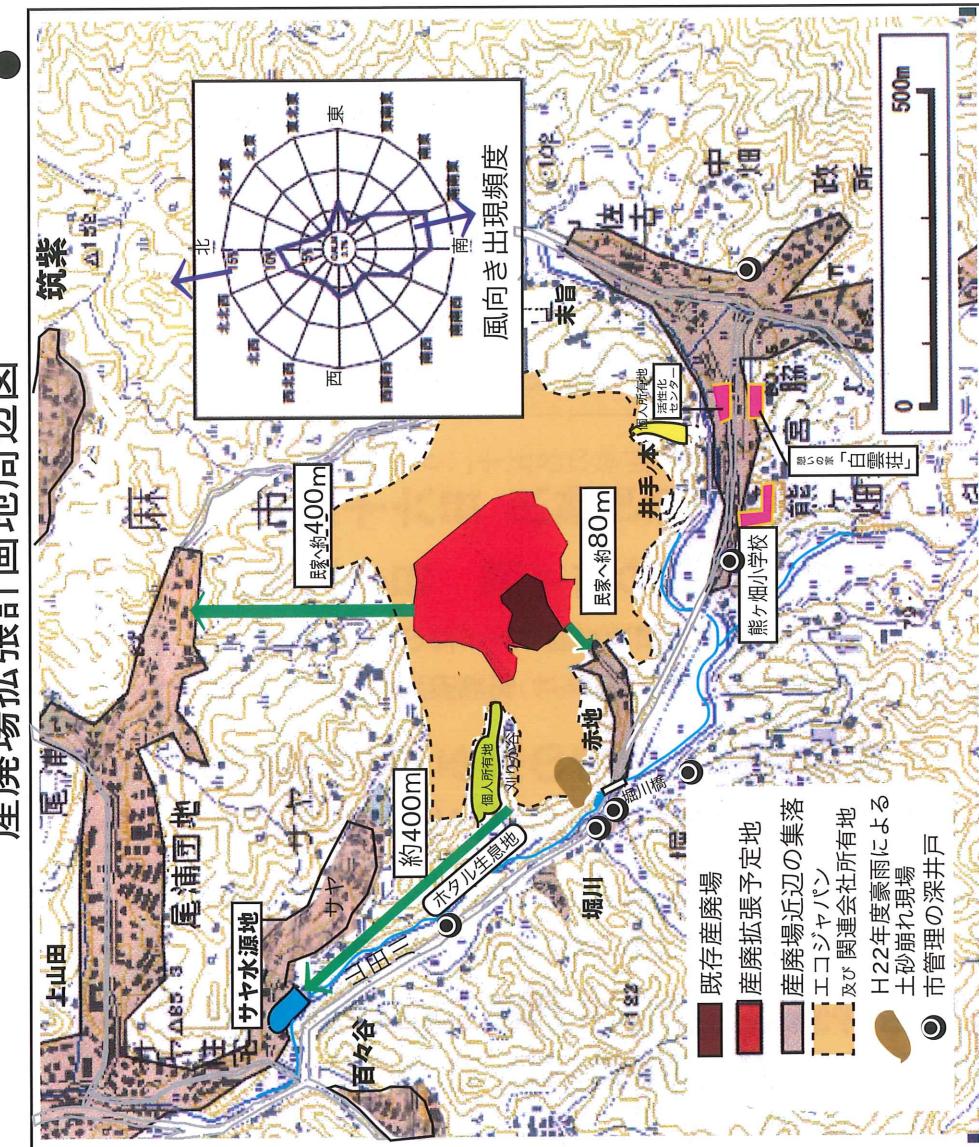
生命の水を汚染するな。

過去、この産廃場から亜鉛、鉛、六価クロム（メッキ工場の廃液などに含まれる毒性が強い環境汚染物質）や自然界に存在しないジクロロメタンが出ているとの調査結果が出ていました。

●硫化水素（卵の腐ったような臭いのガス、濃度が濃くなると臭覚マヒを起こし死亡する事がある、筑紫野市の産廃場での死亡事故はこのガスによるものでした）が溶けた水により土が黒ずみ、周りは結晶化して固まっている、このような県の立ち入り調査報告書が残されています。

●調査資料では過去、浸透水の水温が五十度になっているときもあり危険です。

産廃場拡張計画地周辺図



今回の拡張計画はほんの一部、近辺の土地所有はゆうに二倍を越えています、このままでは町はつぶれます。

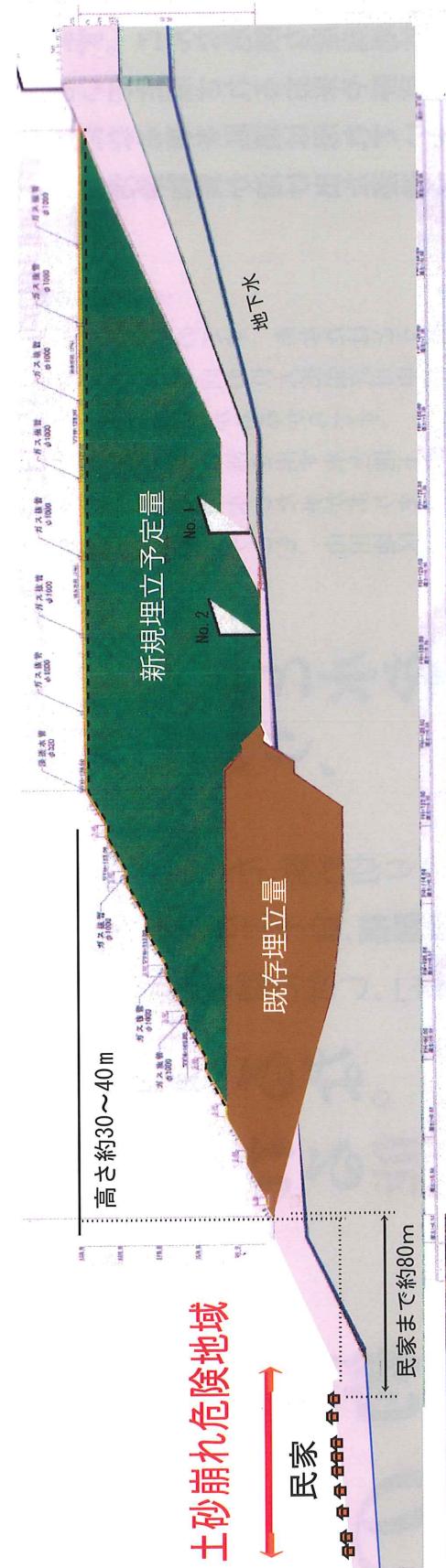
この処分場は旧炭坑跡地、五つの坑口があり地下には網を巡らすように坑道が走っていました。古老の聞き取り調査では一つは筑紫地区、もう一つは福築山野地区へ通じているそうです。汚染水が坑道に流し込まれているので、この地区も汚染される可能性があります。

嘉麻市の環境問題を考える情報報紙
ぜつたい
ほんと
発行：平成23年7月 嘉麻市「生命の水を守る会」
連絡先：嘉麻市熊ヶ畠 正田 0948-52-1711

住民の生産を無視したこの地理学が、何が言わざれるのか？

國語文書

既存の埋立地 134,322m³ 新規埋立て容量 1,428,982m³



土砂流出災害が
いつ起きるか。
大雨の日は自主避難
するしか無い。・・・

毎年、梅雨が近くなるとイヤになります。と直下に住む住民は嘆く、大雨のときは眠る事も出来ず夜を明かすこともあります。これ以上、大量の廃棄物が埋め立てられ、30mも40mも高くなれば身の危険を感じます。

平成十三年の大火災の原因追求は?

まともな反省も無い産廃業者に
日本を拡張許可が許されるのか。

当時の火災は、原因が不明のままです。本来、その原因を産業者が率先して充明し市民に説明責任を果たすべきところ、「二日もかかって火を消しきらんとか！」と当時の関係者に暴言を吐いた経緯があります。まともな反省もなく事業を継続して来た同社には、事業拡大を実施する資質が無いと私達は考えています。

安定5品目なのに、なぜ汚染物質が出るのか?

約二十年間の操業中、福岡県は（有）エコジャパンに、再三搬入された廃棄物の展開検査を行うよう指導しているが、展開検査をしないまま埋め立てている時があり、その都度、指摘されている。この内容からは同社に改善の意思があるとは思えない。

その他の語彙

平成二十三年一月十六日 山市民
センターにて約五百名の参加者の
もと「産廃シンポジウム」開催!

嘉麻市近辺の環境問題に取り組む皆様と高橋弁護士を
パネリストとしてお招きし、環境問題を話し合つ。

- 毎月第一・第四金曜日「生命の水を守る会」例会・臨時集会6回。

二月三日生命の水を守る会・熊ヶ畠
分館、百人で県へ産廃拡張反対陳情

- 一月～七月「奔流弁護士事務所にて」今後の対応を検討 9回。

二月二十六日 福岡県処分場・環境問題連絡協議会研修会に参加、協議会加入。

- 三月十八日 筑穂町産廃義務付訴訟報告集会に八人参加。

●昨年六月から今年五月までは六回立て看板設置 全て盗難被害

五月六日(有)エコジャパンの産廃場拡張申請に対する旨の告示、縦覧開始。

- #### ● 住民説明会開催要求(弁護団と住民10名で県へ出向く)

今までの県の立ち入り調査資料開示請求六回。

六月二十日 熊ヶ畑分館臨時総会

六月二十六日 川崎町産廃勝訴報生会。

※嘉麻市より二十五名の参加がありました。

※この運動は皆様の寄付により運営されています。

資金カンパをおねがいします。

(有)エコジャパン側弁護士より住民説明会を開催するとの連絡がありました。日時、場所が決まり次第お知らせします。

お問い合わせは「生命の水を守る会」
電話 五二〇一七一